

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

高齢運転者の交通事故発生状況 令和4年中

1 高齢運転者事故の発生状況

令和4年中の高齢運転者（65歳以上の運転者）が第1当事者となった人身交通事故（軽車両を除く。）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は増加しましたが、死亡事故は13件13人（前年比±0件±0人）で横ばいとなりました。

【高齢運転者事故発生状況】 (令和4年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	1,076	13	13	110	1,161	1,271
前年	1,002	13	13	137	1,011	1,148
増減	74	0	0	-27	150	123
率	7.4	0.0	0.0	-19.7	14.8	10.7

【高齢運転者死亡事故発生状況】 (令和4年中)

No.	発生年月日等							第1当事者		第2当事者							
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	事故類型	高齢者死亡	車種	高齢者死亡	車種		
1	4	3	2	23	水	夜	晴	仙台市若林区荒町	県道	直線	人対四輪	◎	-	普乗	◎	-	歩行者
2	4	3	8	13	火	昼	晴	仙台市太白区茂庭	県道	カーブ	四輪車単独	◎	-	普乗	-	-	-
3	4	3	20	7	日	昼	晴	栗原市志波姫	市道	交差点	四輪車相互	◎	-	普乗	◎	◎	軽貨
4	4	3	31	18	木	夜	晴	大崎市田尻	県道	直線	人対四輪	◎	-	軽乗	◎	◎	歩行者
5	4	4	23	14	土	昼	晴	石巻市南中里	駐車場	-	人対四輪	◎	-	普乗	◎	◎	歩行者
6	4	6	28	9	火	昼	曇	気仙沼市四反田	市道	交差点	人対四輪	◎	-	軽貨	-	◎	歩行者
7	4	7	31	13	日	昼	晴	利府町中央3丁目	町道	交差点	四輪車相互	◎	-	軽乗	-	-	普乗
8	4	8	10	22	水	夜	晴	仙台市泉区加茂	県道	直線	人対四輪	◎	-	普乗	-	◎	歩行者
9	4	10	10	18	月	夜	晴	角田市佐倉	市道	交差点	四輪車相互	◎	-	普乗	-	◎	軽乗
10	4	10	22	1	土	夜	曇	仙台市太白区富沢	市道	直線	人対四輪	◎	-	普乗	-	◎	歩行者
11	4	11	6	9	日	昼	晴	仙台市泉区松森	県道	交差点	四輪対二輪	◎	-	普乗	-	◎	二輪車
12	4	11	17	15	木	昼	晴	仙台市泉区紫山2丁目	市道	交差点	人対四輪	◎	-	普乗	◎	◎	歩行者
13	4	12	2	15	金	昼	晴	大郷町粕川	町道	交差点	四輪車単独	◎	-	軽貨	-	-	-

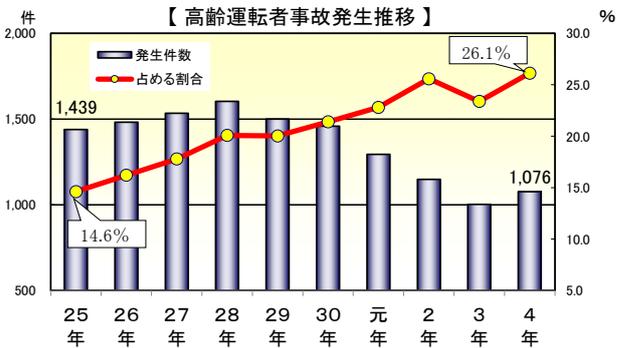
※は同乗者が死亡

2 高齢運転者事故の発生推移 (基礎データ平成25年～令和4年)

発生件数は、平成28年から減少が続いていましたが、令和4年は増加しました。

全人身交通事故が10年間で58.2%減少（平成25年9,851件→令和4年4,117件。-5,734件）しているのに対し、高齢運転者事故は25.2%の減少（平成25年1,439件→令和4年1,076件。-363件）にとどまっています。

全人身交通事故に占める高齢運転者事故の割合は上昇傾向が続き、令和3年は低下したものの、令和4年は再び上昇に転じ、過去10年で最も高い割合となりました。



区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
交通事故発生件数	9,851	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117
高齢運転者事故件数	1,439	1,481	1,534	1,603	1,500	1,458	1,294	1,148	1,002	1,076
占める割合	14.6	16.2	17.8	20.1	20.0	21.4	22.8	25.6	23.4	26.1
死者数	19	24	21	17	17	16	12	14	13	13
負傷者数	1,828	1,850	1,931	2,014	1,811	1,752	1,565	1,402	1,148	1,271
死傷者数	1,847	1,874	1,952	2,031	1,828	1,768	1,577	1,416	1,161	1,284

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

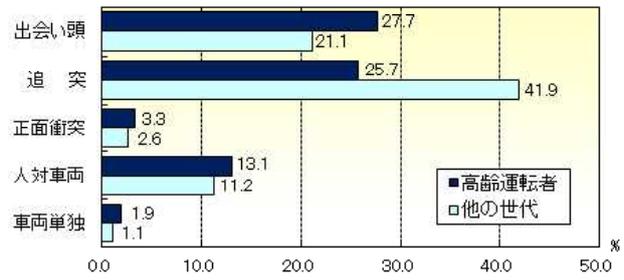
3 高齢運転者事故の発生特徴等 (基礎データ令和4年中・第1当事者が原付以上の人身交通事故)

(1) 出会い頭事故の構成率が他の世代より高い

事故類型別では、出会い頭事故の構成率が27.7% (1,076件中298件) で、他の世代と比較して6.6ポイント高くなりました。

また、それに対して追突事故の構成率が25.7% (277件) で、他の世代と比較して16.2ポイント低くなりました。

【事故類型別発生状況(構成率)】



(2) 交差点、駐車場等での発生割合が高い

道路形状別では、交差点の構成率が47.1% (1,076件中507件) で、他の世代と比較して9.1ポイント高くなりました。

また、店舗や病院の駐車場等「一般交通の用に供するその他の場所」の構成率が8.9% (96件) で、他の世代と比較して4.4ポイント高くなりました。

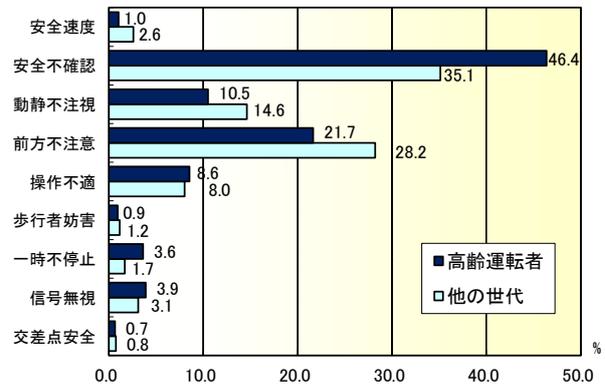
駐車場等での事故の行動別では、後退時が56.3% (96件中54件) で最も高くなりました。

なお、駐車場等でのブレーキ踏み違いやギアの入れ違い等の操作不適による事故は16.7% (96件中16件) 発生しました。

【道路形状別発生状況(構成率)】

区分	交差点	交差点付近	直線	カーブ	駐車場等	その他	計
高齢運転者	47.1	14.6	27.0	2.4	8.9	0.0	100.0
他の世代	38.0	17.2	37.1	3.1	4.5	0.0	100.0
差	9.1	-2.6	-10.1	-0.7	4.4	0.0	-

【違反別発生状況(構成率)】



(3) 安全不確認による事故が多い

違反別では、安全不確認が最も多く、構成率が46.4% (1,076件中499件) で、他の世代と比較して11.3ポイント高くなりました。

また、一時不停止の構成率が3.6% (39件) で、他の世代と比較して1.9ポイント高くなりました。

(4) 免許人口に対する事故率が高い (基礎データ平成30年～令和4年)

免許人口1万人当たりの、第1当事者 (原付以上) の年代別死亡事故発生件数は、1年間当たり高齢運転者が0.36件で、全年代平均 (0.30件) の1.20倍となりました。

特に、75歳以上の運転者は0.50件と、全年代平均の1.68倍、74歳以下の運転者 (0.28件) の1.79倍に達しました。

【免許人口1万人当たりの死亡事故件数(平成30年～令和4年5年間)】

第1当年齢	免許人口	事故件数	免許人口1万人当たり(年に換算)		
			平均との差	同倍率	
～24歳	107,546	26	0.48	0.18	1.61
25～29歳	97,369	17	0.35	0.05	1.16
30歳代	236,854	33	0.28	-0.02	0.93
40歳代	307,353	40	0.26	-0.04	0.87
50歳代	284,696	33	0.23	-0.07	0.77
60～64歳	129,811	14	0.22	-0.08	0.72
65～69歳	128,971	20	0.31	0.01	1.03
70～74歳	129,232	18	0.28	-0.02	0.93
75歳～	119,087	30	0.50	0.20	1.68
(高齢運転者)	377,290	68	0.36	0.06	1.20
計(平均)	1,540,919	231	0.30	0.00	1.00

注：免許人口は令和4年12月末現在

(件) 【免許人口1万人当たりの死亡事故件数】

